

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念を自分の中に落とし込み意識すること。そして皆が共通の理念を持つことで質の高いチームケアにつなげていくための実行力が不十分である。	グループホーム太陽の理念を皆がしっかり共有し、その理念を各利用者様に結びつけながら業務、利用者様に対し、質の高い支援を志す。	様々な機会の中で、「理念」を伝え、各スタッフの中に理解し、落としこみ、意識できるよう積み重ねを行なう。 また、その理念をより具体的に各利用者様の生活に落としこむことで、質の高い考え方、支援方法につなげる。	6ヶ月
2	26	利用者様の情報、現状、課題等のまとめ方、活かし方が不十分である。	情報収集、共有、確認を誰が見ても理解できるような書類整備を行なう。	現在使用している記録書式の整備を行い、スタッフ皆が関わりながら、利用者様の生活状況、認知症状況、病状等を確認することのできる書類整備を行なう。	3ヶ月
3	10	利用者様、ご家族の要望、意見を伝えることのできるよう環境整備を行なう必要がある。	利用者様、ご家族が気軽に要望、意見を伝えることのできる環境、また事業所、スタッフ側から発信していくことのできる環境づくりを行なう。	運営推進会議等の中で、意見等を伝えやすい環境整備を行なう。 太陽通信等によりご家族の要望、意見に対する対応や現状を発信していく。 ご家族面会時等にコミュニケーションをとることで誰にでも気軽に意見や要望を伝えやすい環境整備を行なう。	3ヶ月
4	4	少しずつ、地域の理解度、認知度は深まっているが、今後、より地域と一体となった協力体制を築いていく必要がある。	避難訓練、地域行事等への互いの協力を深め、また市町村、ご家族等との協力、信頼関係を築いていく。	運営推進会議の定期的な開催を行なう。 地域の方、ご家族、市町村、有識者等様々な方々との話し合いの場とし、地域の方々に呼びかけ、各行事の互いの協力、参加を促す。	6ヶ月
5	6	「虐待、身体拘束」に対する危険性や法的論理等の意識、理解が不十分である。	現時点で行なえている「身体拘束、虐待をしないケア」をより深めていき、知識を増やし、理解した中で、今まで以上に身体拘束、虐待をしないケアの徹底を行なう。	研修会を開き、なぜ身体拘束がいけないのかを皆で共有し、法的根拠、危険性をしっかり理解できるよう取り組む。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成して下さい。